

蔵の町並みキャンパス成果発表会

長野県短期大学生活科学科健康栄養専攻 戸井田英子 杉山 英子

健康栄養専攻

蔵の町並みキャンパス—7年間を振り返って—

平成20年度

健康栄養専攻学外行事

学生は参加希望者のみ

事業概要 須坂市内の食品製造工場の見学を行い、須坂市における食品の生産と流通の実態について研修する。また、田中本家博物館を見学し、生活の中における食の歴史的・地域社会的な位置づけについて学習する。さらに田中本家で再現江戸料理を味わい、古今の食事のありかたの違いについて、学び、健康食としての和食・伝統食への理解を深める。

平成26年度

事業テーマ 須坂市の食の歴史と文化を学ぶ

調理学実習Ⅱの中に位置付けている

全員参加

事業概要 須坂市内の食に関する各施設の見学およびおやき作りの体験を通して、須坂市の食の歴史・文化・暮らしについて知見を広め、健康食としての伝統食への理解を深め、地域文化の展開と可能性について考える。

年	活 動 内 容
平成20年	須坂市学校給食センター 見学及び学校給食概要についての説明を聴く 旧上高井郡役所 伝統野菜の地産地消についての説明と伝統野菜料理試食 田中本家博物館 「季節のおごっつお」 試食と博物館見学 臥竜公園・動物園 カンガルーのハッチ 菊花展見学
平成21年 平成22年	<u>「食彩工房よっと蔵い」</u> おやき作り体験 昼食および須坂市概要説明 旧上高井郡役所 機織体験・ビデオ研修 須坂市ふれあい館まゆぐら 世界の民俗人形博物館見学 臥竜公園・動物園
平成23年	おやき作り体験 「食彩工房よっと蔵い」 「そのさとホール」 旧上高井郡役所 笠鉾会館ドリームホール ふれあい館まゆぐら 須坂クラシック美術館
平成24年	おやき作り体験 「食彩工房よっと蔵い」 「そのさとホール」 塩屋醸造 説明と見学 味噌汁の試食 旧上高井郡役所 須坂クラシック美術館・自由散策
平成25年	おやき作り体験 「食彩工房よっと蔵い」 「そのさとホール」 塩屋醸造 説明と見学 旧上高井郡役所 遠藤酒造 須坂クラシック美術館・自由散策
平成26年	おやき作り体験 「須坂市人権交流センター」 塩屋醸造 説明と見学 旧上高井郡役所、遠藤酒造・自由散策

見学した場所



おやき作り体験

平成21年度～現在まで6年間実施

平成21年～22年度まで一会場 10人程度

平成23年～25年度まで二会場 各20人程度

平成26年度

場所： 須坂市人権交流センター

40人が一つの会場で調理実習を行う

みんなで一緒におやきを
作って、食べる

おやきの具



切干大根 村山早生ごぼう入



玉ねぎと青じそ



丸なす



野菜ミックス



さつまいもとあんこ

具材を包む



誰かと一緒に何かをする
「共感体験」
「集団」と「おやき作り」
のみで実現可能

ついに実現しました 豊かな食卓が



共食（食事を通して人と人とがつながり、他者と共感する機会）が実現した

実現できたのは、須坂市役所まちづくり課 滝澤さん、鶴田さんのおかげです。本当にありがとうございました

塩屋醸造見学 信州みそ、発酵食品、日本の食文化を学ぶ



小林さんから味噌作り、発酵食品の良さについて説明を聴く



味噌蔵
扉が開く味噌の香りがしてきた
壁の黒色は麹菌など
長年、蔵に引き継がれてきた
微生物が味噌を作り出す

学生の感想より

説明して下さった方は、歴史にも詳しくて、話を聴いているのがとても楽しかった。一つの食材から、栄養の話、その食材のルーツ、町の歴史、地域の人とのつながりを知ることができたことに、とても感動しました。私もあんな風に語れるくらい、栄養のこと、食品のことを勉強したい。

郷土食の継承 おやき作り

健康栄養専攻25年度生における調査結果

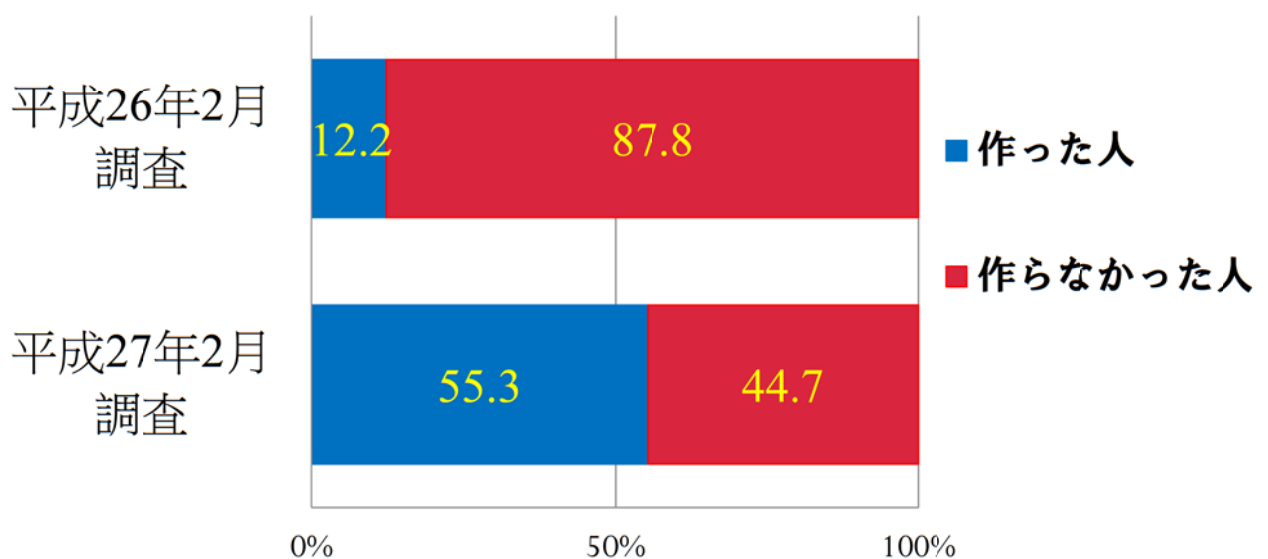
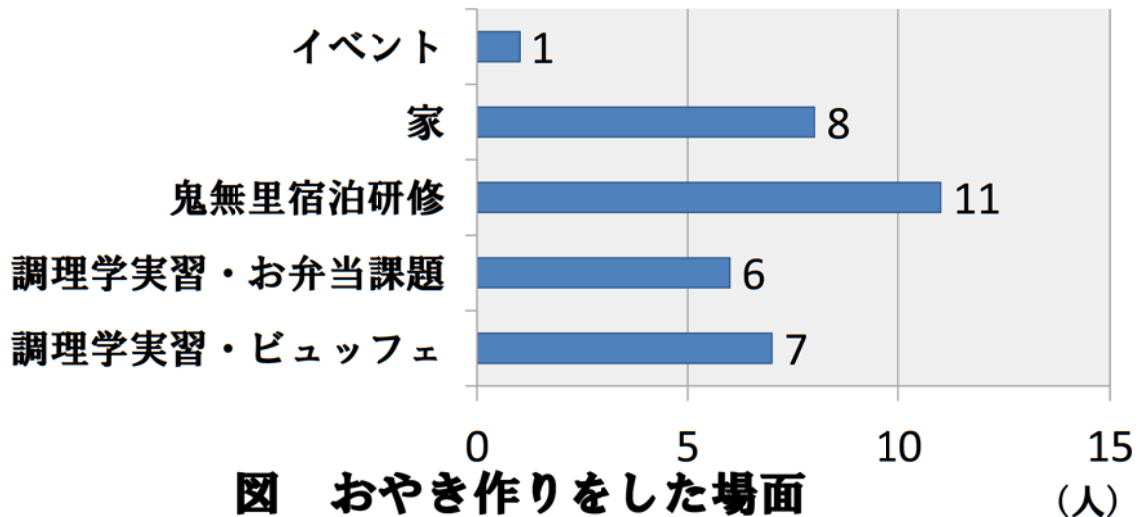


図 おやき作り体験（平成25年9月）後、おやきを作った人

郷土食の継承



授業の中で作った学生が多い

家で作った人はお弁当課題のため家で作った学生を数名を加えている

家庭における継承は難しい

まとめ

7年間実施し、須坂市において食の歴史や文化を学んだ

- ・ 学校教育に郷土料理実習を導入することで、学生が体験的に学ぶことができ、授業の中で自主的におやき作りを実践する。また、少数ではあるが家庭でも実践する
- ・ 信州みそなど、発酵食品の製造や食文化について知見を深める
- ・ 卒業後、栄養士業務に就く学生は保育所、高齢者施設、病院、学校、事業者などで食事を提供する。共食を通してのコミュニケーションは学生の食や社会への関心が深まり、次世代に向けた食育への発展が期待できる

蔵の町並みキャンパスでの 見学地の情景

長野県短期大学
日本語日本文化専攻
日本語・古典文学・中国文学ゼミ



平成26年度の蔵の町並みキャンパス

- 実施：2014年10月30日（木）12:00～17:30
- 目的：見学・散策を通し、須坂市の情景を知る
- 訪問場所：須坂市博物館、臥龍公園、須坂市動物園、田中本家博物館、笠鉾ドリームホール
- 参加者：25名（学生22名、教員3名）



平成26年度の蔵の町並みキャンパス

日本語日本文化専攻



専攻の特色を活かせる企画



自分たちで撮影した
写真を使用

使用した作品



ポストカード作成

古典文学ゼミ

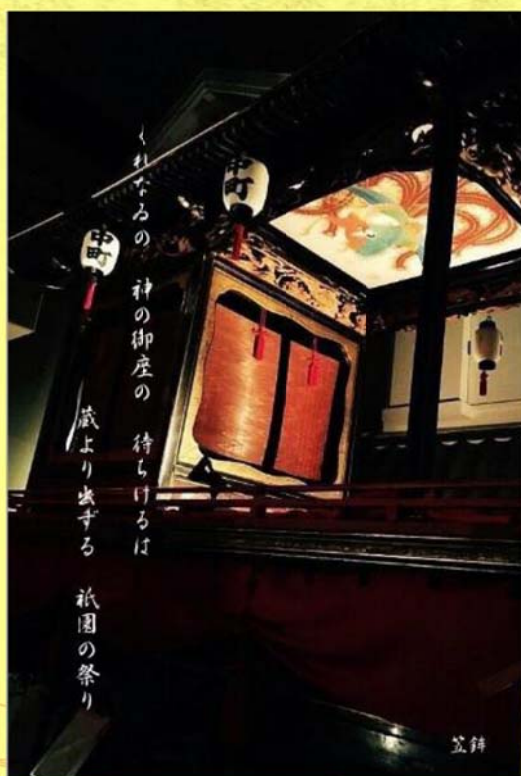
古典文学ゼミ

● コンセプト :

須坂の魅力を
和歌で表現したい！！

くれなゐの 神の御座の 待ちけるは
蔵より出づる 祇園の祭り

かみのみくらの
まちけるは



撮影者：竹井未来
撮影場所：
笠鉾ドリームホール

ちはやふる 神の社は 竜の臥す
紅葉照り映ゆ 秋の夕暮れ



撮影者：塚田友美 撮影場所：臥竜公園

本歌取り

- 本歌

「ちはやふる 神代も聞かず 竜田川
からくれなゐに 水くくるとは」
(在原業平)

- 「本歌取り」とは…

本歌の一部を取り入れる方法。

中国文学ゼミ

中国文学ゼミのポストカード

- 菅沼祐子
- 「秋風薫る田中本家庭園」
- 田中本家庭園の秋の景色を切り取りました。



撮影場所：田中本家

秋風薫る田中本家庭園

- 清水千里
- 「江戸から昭和 当時の暮らし伝える豪商の館」
- 夕暮れ時の田中本家に趣きを感じました。

撮影場所：田中本家



江戸から昭和 当時の暮らし伝える豪商の館



その1歩を、蔵の町へ

- 大川友里恵
- 「その1歩を、蔵の町へ」
- 閑静な小径に風情を感じました。

撮影場所：田中本家



- 中村涼子
- 「時間がとまる、光がとまる町」
- 板塀に映る影と紅葉のコントラストをお楽しみください。

撮影場所：田中本家

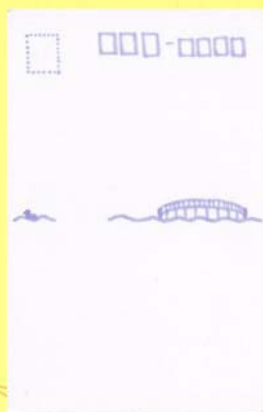
日本語学ゼミ

日本語ゼミのポストカード

- 「もみいづる 木々の色彩 溶かす木洩れ日」
- 田中本家博物館
- 撮影：湯本真由美 フレーズ：徳竹香織



- 「心のふとまる、この景色。」
- 臥竜公園 竜ヶ池
- 撮影：徳竹香織 フレーズ：北澤千佳



- 「恋に落ちた、・・・かも」
- 臥竜公園
- 撮影：湯本真由美 フレーズ：北澤千佳



- 「背中が広く見えたら、愛。」
- 須坂市動物園
- 撮影：北澤千佳 フレーズ：徳竹香織



- 「こんなに鮮やかに、
想いを伝えられたら。」

- 臥竜公園
信州須坂大菊花展
- 撮影・フレーズ
： 湯本真由美



- 「花が美しく見えたとき、
あなたのことを想っていました。」

- 臥竜公園
信州須坂大菊花展
- 撮影： 湯本真由美
フレーズ：
徳竹香織



まとめ

専攻に沿った企画を提案することができ
学生目線で取り組むことができた

この景色をより多くの人に知って
もらうため、活動を現一年生に
引き継いでいきたい

ご静聴ありがとうございました

ホール外に実物が展示されていますので、
ぜひご覧ください。